

「学校教育自己診断」の分析結果及び考察（H27）

(1)生徒

- 「命大切さ社会のルール」が－3 ポイント、「いじめ」や「ネット」関係の課題が落ち着き重点的な取組みを緩めたためと思われる。
- 「校長先生の話は興味深い」－6 ポイント、1 年間読書の話ばかりしたためか。
- 「施設設備の整備」－5 ポイント、トイレとウォータークーラーが要因。ウォータークーラーは PTA から卒業記念品で贈呈予定。

(2)保護者

- 「施設設備の整備」－4 ポイント、生徒の気持ちの反映であろう。
- 「進路指導」＋3 ポイント、保護者懇談を全員 2 回行ったことと 3 年生の懇談での PC 活用力アップが要因であろう。

(3)教職員

- 多くの項目で 10 ポイント以上昨年より高い。
- 「特色と生徒ニーズ」100%は自己評価が高い。
- 「教員間のコミュニケーション」＋10 ポイントは 2 年目にして朝の打ち合わせ会の効果が顕在化した。
- 「思考力の養成」「教科における授業計画」の＋10 ポイントは、生徒アンケートの結果に正の相関。
- 校長のリーダーシップが 2 年連続上昇。